



志村真

「わたしは呼ばれています」(マルコ福音書1:16~17、2:13~14)

1. 後期が始まりました。大学祭やまなびの森フェスティバル、クリスマスなどの行事があり、また就職活動、卒業に向けて進んで行く学期です。学生の皆さんの上に、また教職員一同の上に、神さまの豊かな導きと祝福がありますように。

さて、先ほど読みました聖書の箇所は、イエスの最初の弟子たちが弟子入りした場面です。イエスの最初の男性弟子は4人の漁師たちでした。その後、ローマ帝国の支配下、ローマの税金を徴収する仕事をしていたレビという人が弟子入りします。そのとき、イエスは「わたしについてきなさい」「わたしに従いなさい」と呼びかけました。それに応えて、この人々はイエスに「従った」「ついて行った」とあります。この「従う」(GK アコルーセオー)という単語は、福音書では「弟子として従う」という意味を持つ重要な単語です。

また1章20節では、イエスは「彼らをお呼びになった」と記されています。この「呼ぶ」という単語(GK カレオー)は単純に「声を出して呼ぶ」という意味ですが、こうした弟子入りのシーンで用いられています。そこで、イエス、あるいは神が誰か人を呼んで、大切な働きにつけることを意味するようになりました。つまり、神や人のために使命のある働き、それは何かの活動であったり、仕事であったりするのですが、そうした大切な働きにつけることを意味するわけです。日本語では「召命」という言い方をします。英語では **calling** と言います。同様に、英語で「職業」を意味する **vocation** は、ラテン語の **vocare** (呼び出す) から派生した単語で、「神によって呼ばれた」「召し出された」という意味を持っています。

2. 夏休みの終わり頃、所属する社会福祉学科から派遣されて、私は、フィリピン南部のミンダナオ島ダバオ市にありますがミンダナオ国際大学(MKD)を訪ね、同僚の横山さつき教授、土谷さきえ助教と介護に関するワークショップを行ってきました。MKDの社会福祉学科の全学生と教員6名が参加してくれました。

本学からMKDに最初の訪問団が訪れたのは2010年のことで、それ以来、両学は様々な交流プログラムを行い、連携協定も結んでいます。その一環で、来月には2人の学生が15日間の予定で本学に滞在して、交流してくれます。

さて、ワークショップの開会セレモニーでは、イネス・マリヤリ学長によるご挨拶に続いてメッセージを述べるよう依頼を受けました。そこで、およそ次のようなお話しをしました。

(MKDでは学生、教職員のほぼ全員がキリスト教徒かイスラム教徒です。ですから、以下の話しはほぼ全員に理解してもらえる内容でした。)

「イエスが招いた仲間たちのことを私たちは「弟子 (disciple)」と呼んでいるが、新約聖書が書かれたギリシア語で「弟子」は「マセーテース」と言い、直訳すると「学ぶ者」である。この「学ぶ」ということについて、イエスは、あるところでは「わたしに来て学べ」と言い、また別のところでは「行って学べ」と言っている。私たちが大学に来て学び、同時に実習やインターンシップで行って学ぶ。しかも、「行って学ぶ」については、イエスは「神が求めるのは憐れみ」すなわち他者への「共感」や「寄り添う」ことだ。だから、そうしたことを生活の現場へ行って学べ、と言っている。

私たちが大学での学びであれ、実習を通しての学びであれ、しっかりと取り組んでいこう。そうすることで「学ぶ者」すなわち「神の弟子」となろう。」

3. このワークショップの全体は、二人の学生の司会によって進行されました。私のこのような話しを受けて、司会の学生が次のように述べて、横山、土谷両先生のセッションへの導入としてくれました。

「私たちは介護を学ぶよう呼ばれているんだよね。We are called to learn care-giving. 介護士になるよう呼ばれているんだよね。We are called to be care-workers, right? さあ、ワークショップを始めましょう。よく学んで将来のためにがんばりましょう。So, let's start the workshop, so that we can train ourselves for our better future.」

とても感動しました。介護の仕事を神さまからの招きとしてやっっていこう。そのために、介護をMKDに来て学び、現場に行き行って学ぶ者となろう、と言うのです。彼女たちが身に付けつつあるものは、介護についての知識と技術、そしてこの仕事への使命感です。ケアに対するしつかりとしたマインドとでも言えばよいでしょうか。

4. このような学生たちと一日を過ごすことができたことは大いなる喜びでした。そして、大変刺激を受け、深く学ぶことができました。今日、学期が始まったばかりですので、ここには多くが集っているわけではありませんが、学生の皆さんはそれぞれが思い描いている将来像について、また教職員の皆さんはこの職場での働きに関して、何らかの使命を感じる事ができれば、幸いではないでしょうか。また、祝福ではないでしょうか。

「わたしは呼ばれています。We are called to be …」